

スクラム

ひがしいくのちゅうがっこうこうちようしつ

東生野中学校校長室だより第16号 令和8年10月5日

なみだていりょう あせむげん
涙 定量 汗無限

そうぎようしゃ かぎやま ひでざぶろう
イエローハット 創業者 鍵山 秀三郎

「涙 定量」とは人間が一生の間に流す涙の量には限りがあるという意味です。若いうちに苦難を乗り越えて涙を流すつか、あるいは若い頃に苦勞を避けて年老いてから後悔の涙を流すかという意味です。

「汗無限」とは流す汗には限度がないため、一所懸命に努力し続けて汗を流しなさいという意味で、若い時に流さなかった汗は年老いてからの辛い涙となって帰ってくるということです。

小学生のころからラグビーに憧れ、花園でプレーすることを夢見て高校でラグビーを始めました。しかし、そこには厳しい現実が待っていました。毎日の練習に、なれない寮生活であれだけ憧れ、花園でプレーすることを夢見て大好きだったラグビーが嫌いになっていました。「もう無理かな、辞めたいな。」そんなとき一泊二日で帰省する機会がありました。家に帰っても高校に行かせてもらってる手前、辛いとか辞めたいとかは言えない状況でした。しかし元気がない姿を見て何かを察したのかおばあちゃんが「親元を離れて大変やろ、しんどいやろ、あー結構、結構。苦勞せえ、苦勞したらええ。若い時の苦勞は買うてでもせえ、言うんや。がんばれ！！」そのおばあちゃんの言葉が背中を押してくれ、それからがむしゃらに頑張りました。あの時の頑張りが今の自分を支えてくれています。その後も泣きたくなくなるような出来事が度々ありましたがいっぱい汗をかいて絶対に逃げずに挑んでいきました。不思議なことにすべてのことが解決しています。もし高校の時に苦しさや辛さから逃げていたら東生野中学校で大好きなみなさんと大好きな教職員との出会いはなかったと思います。毎日が楽しく本当に充実しています。

「涙 定量、汗無限」を体験しました。

同じ「涙」でも「うれし涙」は何度流しても良いものですね

がんば
頑張りました。

だんし 男子バスケットボール部 令和8年度大阪市秋季総合体育大会 準優勝 おめでとう。

かんとうちほう ごうう な かたがた めいふく いの
関東地方で豪雨によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに
ひがい ひがい かたがた み ま もう いちにち はや まち ぶっこう
被害にあわれた方々にお見舞い申しあげます。そして、一日も早く町が復興すること
こんご さいがい お ねが
と今後、災害が起こらないことを願います。

校長 角田眞章